

小林市議会「みんなで語ろう会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	細野中学校区	担当班	議員名	担当
参加人数	24 名(男 19 名 女 5 名)		竹内 議員	司会進行
開催日	令和元年 7 月 23 日(火)		高野 議員	活動報告(総務文教)
開催時間	午後 7 時 00 分～8 時 30 分			(経済産業)
会場	高齢者コミュニティセンター 南部いろり村			(市民厚生)
その他				(広報広聴)
		2 班	押領司 議員	記録・報告書作成

◎班代表者 高野 議員

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
テーマ①	空き家対策について		
【意見交換の概要】 □荷物が置いたままの空き家がある。 ■小林市内にそういった物件が多いため、担当課では対策等を検討中である。 □不動産業者が管理している空き家だと空き家バンクに登録できないのか。 ■不動産業者が管理していると登録できないこととなっている。 □現在の空き家の数を教えてほしい。 ■小林市全体で 1,418 件。 □空き家対策の窓口を一本化できないか。(※空き家バンクは地方創生課・空き家対策は管財課) ■管財課と地方創生課は部署が隣同士のため、趣旨は異なるが同時に対応することが可能である。現在、空家等対策計画策定の中で相談しやすいように窓口を一本化できるよう進めているところである。 □細野地区において、空き家の状況を教えてほしい。 ■小林市において危険度レベル1(すぐ住める)は 424 件、危険度2(少しのリフォームの必要あるが住める)504 件、危険度レベル3(住むには改修の必要がある)371 件、危険度レベル4(倒壊寸前で住めない)119 件。細野区においては危険度レベル1が 21 件、危険度レベル2が 34 件、危険度レベル3が 46 件、危険度レベル4が 12 件となっている。合計 113 件。 □市民も空き家バンク制度を利用できるようにしてはどうか。市外から通勤する教職員の方等に開放する空き家対策もあるのではないか。 ■移住者促進のための制度であり、今のところ市外からの移住者が対象となる。出された意見は委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。			

□空き家を地域のサロンなどにも活用できないか。

■所有者を含め、地域の方々から、様々な意見が出てきている。委員会等で十分討議し、地域の意見を伝えていく。

テーマ②

廃プラスチックの処理について

【意見交換の概要】

□人口が多く集積所が一杯になっている。プラの回収を行う回数を増やして欲しい。

■一週間のスケジュールが決まっているため、現状では回数を増やすのは今のところ難しい。

□小林市は長年かけてリサイクル率を上げてきた。市としてできるだけ廃プラスチックリサイクルを推進して欲しい。

■小林市のリサイクル率は 68.1%であり、全国トップクラスの先進地でもある。廃プラをリサイクルすることにより、最終処分場の延命化にもつながっている。高齢者や障がいのある方にも配慮し、ラップ類・チューブ類・小袋類については、燃やすごみとして扱うことになったが、基本的には、洗えるものは洗って廃プラとしてリサイクルするのが理想である。

□トレイは洗っても汚れが落ちないものもあるが、廃プラとして出してもよいのか。

■廃プラとして出してもよい。清掃工場において、丁寧に選別されており、小林市の廃プラは高い評価を得ているところである。

□近代的なリサイクル工場の建設を検討されてはどうか。西諸を引き受けてリサイクルを一括で行えるようなものも計画してみてはどうか。

■煙突の解体に莫大なお金がかかるなど課題はあるが、今後のリサイクルを推進していく上で、委員会等で十分討議し、地域の意見を伝えていく。

□ごみ出しと常会の関係について、常会に入っていない人たちはどのようにされているのか。

■常会に入っていたくのを基本としているが、自分でお金を出して処分したり、常会で負担金をもらって、ゴミ集積所に出しているところもある。

自由意見の交換

□細野団地内にゴミ屋敷がある。管財課でなんとかできないか。

■担当課に相談したところ、まだ本人名義になっているところが多く、処分できないため、対策を検討中である。

□区・組加入プロジェクトを進めているが、防災、防犯を含めて条例化できないか。

□区・組未加入者を条例などでなんとかできないか。

■意見や立場の違いなどで相手を疎外することなく、それぞれの状況に応じながら協力することが必要である。当局でも区・組加入促進プロジェクトチームを設置し、検討中である。

□細野団地に投票所がない。コミュニティバスが入ってこない。

■様々な意見が出てきているので、委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。

□乗合タクシーのルートが点と点になっていて使いにくい。もっと利用が増えるよう研究をしてほしい。

■現在、1日当たりの乗合タクシーの利用者数は0.2人である。様々な意見があり、市民の交通手段の確保について、委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。

□避難所になっている細野小学校体育館は、雨漏りがするので、早急に修繕できないか。

□いろり村の前が舗装されていない。

□小学校の側道の歩道設置を申請しているが進んでいない。

■令和2年度長寿命化計画に盛り込むよう、委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。

□地区体育館が避難所になっているが、備品や明るさが足りない。充実させて欲しい。

□災害状況により、体育館ではなく設備の充実した公民館などの避難所に変えてはどうか。

■当局において、現在の指定避難所設備の充実を検討し、進めている。

□免許証返納に伴い、公共交通を充実してほしい。

■地域公共交通網形成計画の中で盛り込むよう、委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。

□道の駅を含めた観光振興を推進できないか。

■ゆ〜ぱるのじり、百笑村など、他の施設との関連性を含めて、委員会等でも十分討議し、地域の意見を伝えていく。

議会活動報告への意見